

クリモト

非常用耐震性

貯水槽

**Kurimoto
Ductile
Iron Pipe**



備えあれば憂いなし!

考えてみませんか? 非常時の飲料水!!

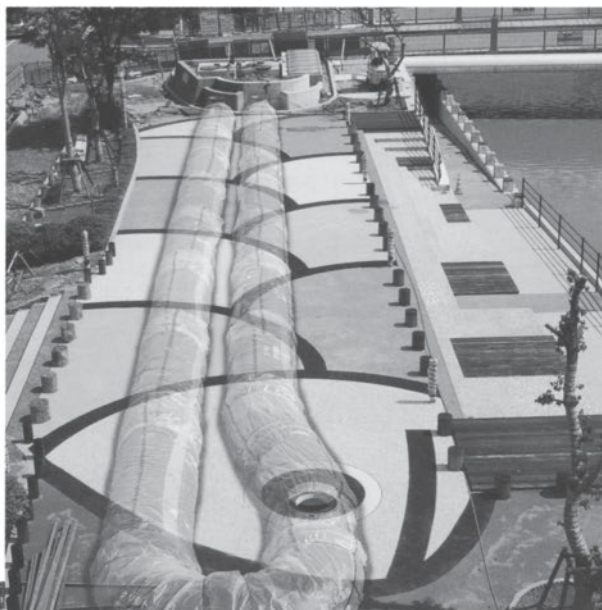


非常用耐震性貯水槽は、
地震などで、水道が使えなくなった時に備えて、生活用水を確保します。
高機能ダクタイル鉄管とともに災害時においても、
生活用水を確保するシステムです。

指定避難場所に貯水槽を。

災害発生により断水した場合は、復旧されるまで応急給水を待つことになります。水の輸送は給水車などに頼ることになりますが、道路が被害を受けている場合も考慮しなければなりません。

クリモトのダクタイル鉄管による非常用耐震性貯水槽は配水管の一部に大口径ダクタイル鉄管を組み込み貯水槽の役割を果たさせるもので、平常時は水道管路の一部として機能し、災害時に管路が破損しても両端の弁を遮断することにより、弁間の水が貯水槽内に貯留され緊急用水源として活用することができます。



▼「U字型 φ1500 150m² 公園内設置例」



災害時にも飲料水が確保できるシステムです。

貯水槽の水は災害時において無条件でそのまま飲めるものでなければなりません。クリモトの貯水槽は常に飲料水を確保できるシステムです。

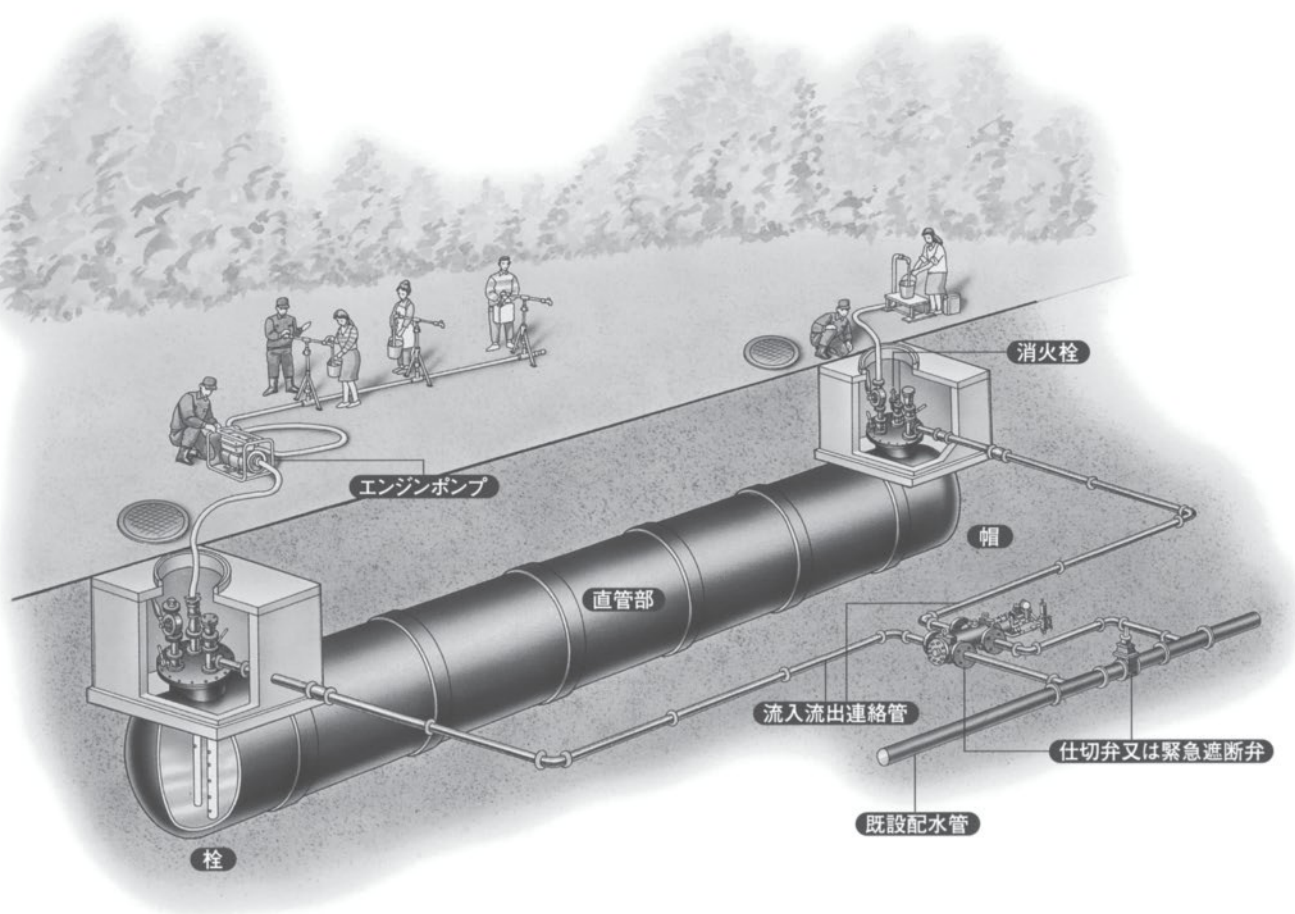
貯水槽は強靱で耐食性に優れたダクタイル管により構成されます。水は配水管路から流入管により貯水槽内に導かれ、流出管を経て再び配水管路に戻る構造で、水は絶えず循環して流れています。配水管と貯水槽をつなぐ流入、流出管に緊急遮断弁を

設置することにより、配水管が被災しても配水管と貯水槽を遮断し、貯水槽内の水の流出を防ぎます。

災害時の水のくみあげはエンジンポンプもしくは手動ポンプで行いますので、停電時にも簡単に給水することができます。

給水設備は地下式、地上式(上屋式)いずれでも可能。また、消火栓も併設してありますので普段は消火用としても利用できます。いわゆる飲料水、防火用水兼用の非常用耐震性貯水槽です。

非常用耐震性貯水槽概要図



資料

1.容 量

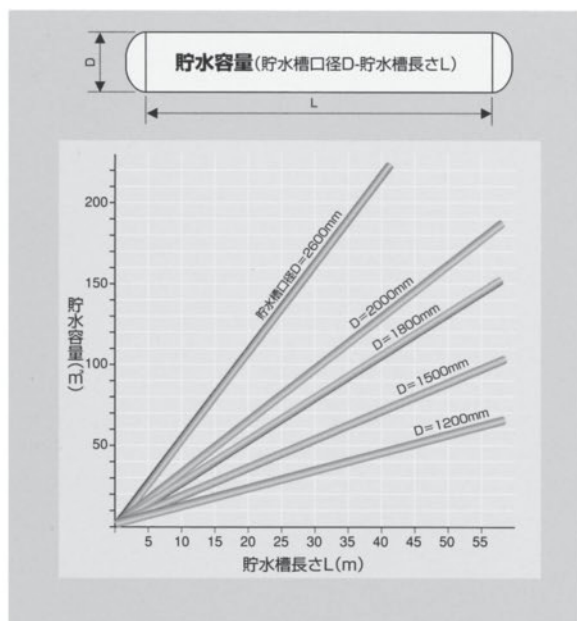
災害時の各避難場所に貯水槽を設置することにすれば、貯水槽の容量は計画避難人口に基づいて決定することができます。一般的には1人3リットルが必要水量とされており、これを3日分確保するとして容量を決定するとされています。

容量(m³)=計画避難人口×3(リットル/日・人)×3(日)÷1000

〈例〉

計画避難人口10,000(人)×3(リットル/日・人)×3(日)÷1000≒100(m³)

2.呼び径および長さ

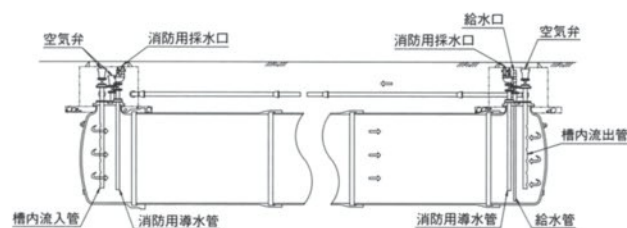
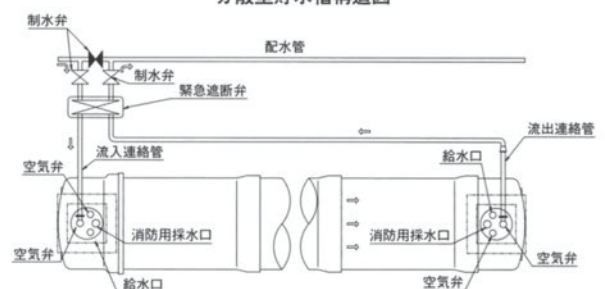


設置場所の広さなど条件に合わせた貯水容量(口径、長さ)が選択できます。

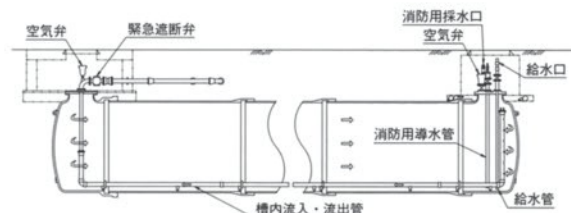
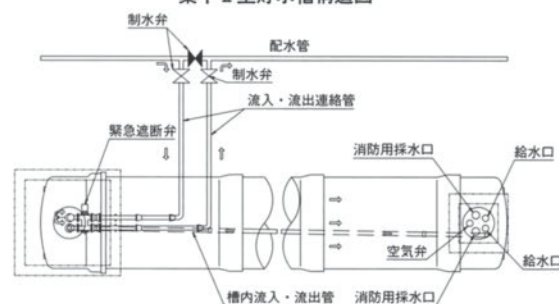
品名	口径	長さ(m)	容量(m ³)
直管 モルタルライニング	φ2600	4,000	21.30
直管 モルタルライニング	φ2000	5,000	15.58
直管 モルタルライニング	φ2000	4,000	12.46
直管 モルタルライニング	φ1500	5,000	8.82
直管 モルタルライニング	φ1500	4,000	7.06
栓 モルタルライニング	φ2600	1,640	7.64
栓 モルタルライニング	φ2000	1,620	4.19
栓 エポキシ樹脂粉体塗装	φ1500	1,425	2.35
帽 モルタルライニング	φ2600	1,640	7.64
帽 モルタルライニング	φ2000	1,520	4.19
帽 エポキシ樹脂粉体塗装	φ1500	1,425	2.35

3.構 造

分散型貯水槽構造図



集中Ⅱ型貯水槽構造図



4.その他

設置費用については、(財)日本消防設備安全センターの認定品を設置すれば総務省消防補助金の申請が可能です。